

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那バラフェスタ2020事業
事業主体 (連絡先)	伊那市 (伊那市下新田3050番地) TEL 0265-94-3666
事業区分	(3) 教育、文化の振興、(6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	786,832円 (うち支援金: 493,000円)

#### 事業内容

本市を代表する山岳写真家・津野祐次氏の撮影したバラを中心とした「写真展」を開催した。

また、同氏が講師を務め、写真撮影のテクニックを学ぶ「ギャラリートーク」のほか、写真展協賛イベントとして、バラの花びらのエキスをを用いてスカーフを染める「染色講座」を開催した。

- ・写真展：9月5日(土)～11月8日(日)  
入館者計970人(有料入館者計588人)

補足：イベント参加者数

- ・ギャラリートーク：9月5日(土) 参加者22人
- ・染色講座：9月19日(土) 参加者5人

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・コロナ禍の中、バラフェスタ2020事業の多くが中止となる中、写真展は無事開催することができた。
- ・行動自粛により目標人数が確保できるか心配されたが、目標を上回る入館者数があった。
- ・郡外、県外からの来館者も多くあり、写真展により、「高遠しんわの丘ローズガーデン」や南アルプス等の認知度を高めることができた。来年以降、伊那市の本物の自然に触れようと、多くの観光客の入り込みが期待される。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・写真展は、信州高遠美術館においては初めての開催であったが、伊那市の素晴らしい風景を目の当たりにしていただくことができ、入館者の反応は良かった。バラ祭りに合わせて実施することはできなかったが、「高遠城址もみじ祭り」(10月31日～11月8日)に合わせて開催したことも影響し、観光客の入館も多かった。今後、バラフェスタをはじめ、周辺イベントとコラボした企画を行い、さらに地域の交流人口を増やしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【ギャラリートークの様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①入館者 500人(有料入館 200人)
- ②ギャラリートーク 20人
- ③染色講座 8人
- ④交流人口の増加

#### ※自己評価 【 A 】

##### 【理由】

- ・入館者数が目標のほぼ2倍
- ・入館者のうち上伊那郡を除く県内入館者20%、県外入館者21%
- ・商店街や隣接する城址公園を訪れる観光客も多く見られた。